

第21回中央大学学術シンポジウム プログラム

「グローバル化とクレオール化 ―文化接触・文化変容・文化混濁―

日 時： 2006年12月8日(金) 15:00～18:30

2006年12月9日(土) 11:00～18:00

場 所： 中央大学多摩キャンパス 1号館4階1406号室

12月8日(金)

15:00 開会

主催者挨拶 永井 和之(学長)

開会の辞 阪口 修平(人文科学研究所所長)

15:10～18:30 オープニング・セッション「グローバル化と日本」

招待講演 ピエール・スイリ 氏(ジュネーヴ大学教授)

「過去と未来の間―1868年前後の歴史表象」

西川 長夫 氏(立命館大学教授)

「欧化と日本回帰・再論 ―〈戦争〉と〈戦後〉を改めて考える」

司会通訳 三浦 信孝(文学部教授)

討論者 モジュタバ・サドリア(総合政策学部教授)

12月9日(土)

11:00～13:00 第2セッション「ヨーロッパとアメリカの史的形成」

小野 潮(文学部教授)「ナポレオンのヨーロッパ、スタール夫人のヨーロッパ」

松本 悠子(文学部教授)「海を渡った自由の女神―アメリカの理念とヨーロッパ」

川原 彰(法学部教授)「アレントによるアメリカ革命とフランス革命」

討論

14:30～16:30 第3セッション「人種・離散・アイデンティティ」

三浦 信孝(文学部教授)「トクヴィルにおける人種問題と植民地問題」

川崎 嘉元(文学部教授)「離散スロヴァキア人のエスニック・アイデンティティ」

森茂 岳雄(文学部教授)「博物館展示にみる日系アメリカ人表象の多文化ポリティクス」

討論

16:30～16:45 コーヒー・ブレイク

16:45～17:30 第4セッション「メタファーとしてのクレオール」

中尾 秀博(文学部教授)「ローカルとグローバルの狭間で―ニュージーランド映画の現在」

討論

17:30～18:00 総括討論・閉会

司会 三浦 信孝(文学部教授)

松本 悠子(文学部教授)

閉会の辞 日高 克平(企業研究所所長)

以上